

省エネ計算プログラムの手引き

チリングユニット

2024年7月

1. 省エネ計算プログラムとは	・・・・・・・・・・ P.3
2. ご利用方法	
2-1.省エネ計算プログラムサイトの立ち上げ	・・・・・・・・・・ P.4
2-2.使用環境の登録	・・・・・・・・・・ P.6
2-3.既存設備の登録	・・・・・・・・・・ P.7
2-4.導入予定設備の登録	・・・・・・・・・・ P.9
2-5.計算結果の確認	・・・・・・・・・・ P.11
3. 計算のうえでのご注意	・・・・・・・・・・ P.12

1.省エネ計算プログラムとは

本ツールは、製品型番や使用環境を入力すると、省エネ設備の導入前後の削減効果を算出できるツールです。省エネルギー化の取り組みにご活用ください。

※補助金の申請を行うものではありません。

省エネ計算プログラムを使用する推奨例

省エネ補助金活用事例集で省エネの具体事例を確認する



省エネ計算プログラムを使用する



省エネクイック診断で専門家からの具体的なアドバイスも聞いてみる



省エネ補助金を検討してみる

 こんな方におすすめ！

- ✔ オンライン上で簡単に省エネ量を調べたい！
- ✔ 更新予定の設備のコスト削減効果を知りたい！

2.ご利用方法

2-1.省エネ計算プログラムサイトの立ち上げ



- ① 「省エネ計算プログラム」のサイトに遷移したら、「比較を開始する」をクリック。



- ② 「サイトご利用に関して」を確認し、「**上記の内容に同意します**」にチェックを入れます（「同意する」の意）。
- ③ 「比較を開始する」をクリック。

2.ご利用方法

✓ アンケートについて

ご利用にあたり以下のアンケートの回答をお願いいたします。

本アンケートの回答は、省エネに関する調査・研究等の目的で利用します。
※回答された情報はSIHのデータベースに保存されます。

業種
--なし--

職種
--なし--

使用目的
--なし--

次へ

- ④ 3つのアンケートについてプルダウンから選択のうえ、「次へ」をクリック。

「使用目的」で「その他」を選択する場合は具体的な内容もご記載ください。

↻ 比較する設備の選択

比較する設備を選択してください。

※比較する設備は、順次リリース予定になります。

空調

電気式パッケージエアコン

ガスヒートポンプエアコン

チリングユニット

照明

照明器具

- ⑤ 比較計算したい設備を選択する。

次のページより、「チリングユニット」の計算方法をご案内します。

2.ご利用方法

2-2.使用環境の登録 (チリングユニット)

下記の表を参考に、設備の使用環境を登録し、「次へ」をクリック。

使用環境の登録

設備の使用環境を入力してください。

1 建物／ビル名称

建物／ビルの名称を入力してください

※当項目は比較結果表示の際に表示名として使用されます。実際の名称でなくても構いません。
入力した建物／ビル名称はSHのデータベースに保管されるため、単独で個人が特定できる名称の入力は行わないでください。

2 設備設置場所 (都道府県)

--なし--

3 冷却方式

--なし--

運転種別／稼働時間

月	4 運転種別	5 稼働時間 (h)
4月	--なし--	00.00
5月	--なし--	00.00
6月	--なし--	00.00
7月	--なし--	00.00
8月	--なし--	00.00
9月	--なし--	00.00
10月	--なし--	00.00
11月	--なし--	00.00
12月	--なし--	00.00
1月	--なし--	00.00
2月	--なし--	00.00
3月	--なし--	00.00

戻る 次へ

項目名	概要
1 建物／ビル名称	比較結果表示の際に表示名として使用されます。実際の名称でなくても構いません。
2 設備設置場所 (都道府県)	設備を設置する場所の都道府県を選択します。
3 冷却方式	【水冷式／空冷式(冷房専用)／空冷式(ヒートポンプ)】から選択します。
4 運転種別	3で【水冷式】又は【空冷式(冷房専用)】を選択した場合は、4月から3月までのすべての月の運転種別が「冷房」と自動表示されます。 【空冷式(ヒートポンプ)】を選択した場合は、各月の運転種別を選択します。
5 稼働時間	月間の総稼働時間を月毎に入力します。 ※1日当たりの稼働時間ではありませんのでご注意ください。

2.ご利用方法

2-3.既存設備の登録 (チリングユニット)

登録設備の一覧 空調

使用環境

建物/ビル名称
ビルA

設置場所 (都道府県)	冷却方式	4月	5月	6月	7月	8月	9月	編集ボタン
		冷房	冷房	冷房	冷房	冷房	冷房	
		40.00 h	40.00 h	40.00 h	40.00 h	40.00 h	40.00 h	編集する

既存設備

最大5件まで設備登録ができます。

No	製品名	型番	台数	編集ボタン	削除ボタン
1				編集する	削除する

- ① 「登録設備の一覧」画面の既存設備の「編集する」をクリック。

既存設備の登録 空調

既存設備の情報を登録してください。

*は入力必須項目です。

種別
チリングユニット

- 1 メーカー
メーカー名を入力してください
- 2 製品名*
製品名を入力してください
製品名がわからない場合は、任意の製品名でも構いません。(例) 既存設備A
- 3 型番
型番を入力してください
- 4 台数*
00 台

- ② 下記の表を参考に、既存設備の情報を登録し「既存設備を登録」をクリック。
「*」がついている項目は入力必須項目。

項目名	概要
1 メーカー	メーカー名を入力します。
2 製品名*	製品名を入力します。製品名が分からない場合は、任意の製品名でも構いません。
3 型番	型番を入力します。
4 台数*	3で登録した型番の台数を入力します。

2.ご利用方法

2-3.既存設備の登録 (チリングユニット)

5 設置年*

--なし-- ▼

6 定格能力(冷房)*

00.0 --なし-- ▼

7 定格能力(暖房)

00.0

8 定格消費電力(冷房)*

00.00 kW

9 定格消費電力(暖房)

00.00 kW

10 冷却方式*

--なし-- ▼

11 容量制御方式*

--なし-- ▼

戻る

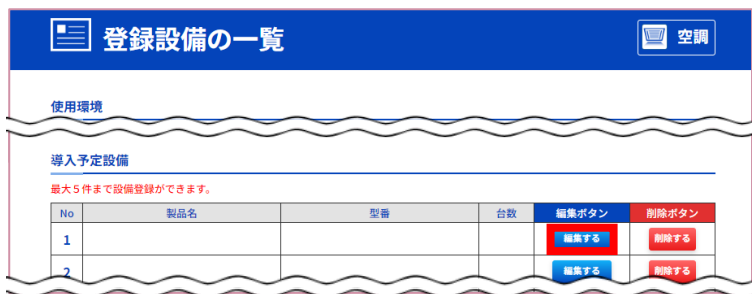
既存設備を登録

項目名	概要
5 設置年 *	固定資産管理台帳に記載されている、既存設備の設置年（取得年）を選択します。
6 定格能力（冷房）* } 定格能力（暖房） 9 定格消費電力（冷房）* 9 定格消費電力（暖房）	冷房定格能力、暖房定格能力の単位はカタログ、仕様書の記載に合わせ【kW】、又は【kcal/h】を選択してください。 ※ 10 冷却方式で【水冷式】を選択する場合は、「暖房定格能力」、及び「暖房定格消費電力」は空欄としてください。
10 冷却方式 *	適切な冷却方式を【水冷式／空冷式(冷房専用)／空冷式(ヒートポンプ)】から選択します。 ※使用環境で選択した冷却方式と一致していない場合は、入力エラーとなりますのでご注意ください。
11 容量制御方式 *	導入する設備の「冷却方式」と、「定格能力」の組み合わせから、適切な容量制御方式を選択します。

③ すべて入力したら、「既存設備を登録」をクリック。

2.ご利用方法

2-4.導入予定設備の登録 (チリングユニット)



① 「登録設備の一覧」画面の導入予定設備の「編集する」をクリック。



② 必要事項を入力し、「検索する」をクリック。「*」がついている項目は入力必須項目。

項目名	概要
① メーカー名 *	株式会社等の法人格は含めずに入力します。
② 製品名	分かる場合は、メーカー発行のカタログに記載のものうち、すべて、もしくは一部を入力し、検索します。
③ 型番	

2.ご利用方法

検索結果

No	メーカー	製品名	型番	選択ボタン
1	■■■■■	■■■■■	■■■■■	選択する

- ③ 検索結果が表示されたら、該当の設備を探し「選択する」をクリック。

導入予定設備の登録 空調

導入予定設備の情報を登録してください。

*は入力必須項目です。

種別
チリングユニット

メーカー
メーカーA

製品名
製品B

型番
型番A

台数*
 台

戻る 導入予定設備を登録

- ④ 「台数」に選択した設備の導入予定台数を入力し、「導入設備を登録」をクリック。
「*」がついている項目は入力必須項目。

2.ご利用方法

2-5.計算結果の確認 (チリングユニット)

登録設備の一覧

空調

使用環境

建物/ビル名称
テストビル

比較結果へ進む

① 「登録設備の一覧」画面で既存設備と導入予定設備が登録されていることを確認し、「比較結果へ進む」をクリック。



② 計算結果が表示される。
必要に応じて印刷ボタンからPDFや紙に印刷し、保存することも可能。

3.計算のうえでのご注意

◆導入予定設備

本ツールで導入予定設備として選択できる製品は「省エネルギー投資促進支援事業」において、(Ⅲ)設備単位型の補助対象として登録されている設備です。

◆原油換算使用量 (kl/年)

本ツール利用時に登録いただく運転時間、日数等の使用環境、既存設備及び導入予定設備の消費電力等の情報をもとに試算した結果です。あくまでJIS等に基づく標準的な条件での試算であり、ご使用の地域、気象、その他の条件等により、実際の原油換算使用量は異なりますのでご注意ください。

◆年間コスト (円/年)

<電気>

消費電力量に想定電力料金単価 (20円/kWh) を乗じて算出したものです。想定電力料金単価は、電力・ガス取引監視等委員会が公表する電力取引報における、高圧の販売量及び販売額から、一定期間の平均単価を算出し、適用しております。実際の電力料金単価は、各事業所の契約形態や電力会社等によって異なります。

<ガス>

ガス消費量に想定ガス料金単価 (85.5円/m³) を乗じて算出したものです。想定ガス料金単価は、電力・ガス取引監視等委員会が公表するガス取引報における、商業用、工業用及びその他用の販売量及び販売額から、一定期間の平均単価を算出し、適用しております。また、本ツールでのガス消費量及び年間コストは、都市ガス (標準発熱量45MJ/m³) を使用する場合を想定しております。実際のガス料金単価は、使用するガス種別、各事業所の契約形態、ガス会社等によって異なります。

3.計算のうえでのご注意

< A 重油 >

A 重油消費量に想定 A 重油料金単価（98円/L）を乗じて算出したものです。想定 A 重油料金単価は、経済産業省資源エネルギー庁が公表する石油製品価格調査における、産業用価格（軽油・A 重油）のうち、A 重油の小型ローリーの販売額から、一定期間の平均単価を算出し、適用しております。実際の A 重油料金単価は、販売会社等によって異なります。

< L P G >

L P G 消費量に想定 L P G 料金単価（170円/kg）を乗じて算出したものです。想定 L P G 料金単価は、日本 L P ガス協会が公表する L P ガス価格の推移におけるプロパンの卸売価格から、一定期間の平均単価を算出し、適用しております。実際の L P G 料金単価は、販売会社等によって異なります。

< 灯油 >

灯油消費量に想定灯油単価（120円/L）を乗じて算出したものです。想定灯油単価は、経済産業省資源エネルギー庁が公表する石油製品価格調査における、一般小売価格のうち、民生用灯油（給油所以外）の配達価格から、一定期間の平均単価を算出し、適用しております。実際の灯油料金単価は、販売会社等によって異なります。

お問い合わせ・相談・連絡窓口

一般社団法人 環境共創イニシアチブ

TEL : 03-5565-3840

受付時間 : 平日の10:00~12:00、13:00~17:00

(土曜、日曜、祝日を除く)

通話料がかかりますのでご注意ください。

SIIホームページURL <https://sii.or.jp/>